

《産地へのおたより》

今回初めて、種もみからお米作りに参加させていただきました。

届いた種もみと育て方ブックを片手に芽だしから、種もみとにらめっこの日々でしたが、書かれている説明がとても分かりやすかったので助かりました。

やがて、白くかわいらしい芽出しの感激も束の間で、芽はによきによきと伸びて行き、種の生命力を感じました。

種まきは土を入れたバケツに植え、苗の移しかえでペットボトル苗も4本ほど作り、日当たりの良い所に置きました。水が少なくなってきたら、水を足し様子を見ていました。ところが、なかなか分けつが進まず、苗の伸びも思わしくない状態が続いたため、肥料を加えた方が良いのか、自宅の古い土を使ったのが良くなかったのか・・・と思案にくれていました。そんな心配を知ってか知らずか、苗は着実に土にしっかりと根を張っていて、力強くたくましく成長していってくれました。

気がつくと、茎が膨らみ、花が咲き、つぎつぎと青いお米たちが顔を出してくれました。途中にはバケツの水中にボウフラが発生したり、スズメにつつかれたりという事件がありましたが、折々の稲の成長には驚きと感動をたくさんもらいました。

我が家のお米作りを通して、毎年たくさんのお米を供給して下さっている生産者の方々のご苦労とご努力を、より身近に感じる事ができました。今年も、その感謝の想いと共に、我が家でのお米作りを振り返りながら、産地の「岩手ひとめぼれ」の新米を味わっていただきたいと思います。

産地、生産者のみなさん、今年も安心、安全でおいしいお米を作ってくださいまして、どうもありがとうございます。来年も、ぜひひとめぼれにチャレンジしたいです。その際はまたよろしく願いいたします。